



Q. 小中学校の教育環境整備計画は A. 今後、研究を重ねる

大口 司郎 議員

Q 近年、ヒートアイランド現象により、熱中症にかかる人が急増している。

小中学校教室に扇風機が設置され、中学校グラウンドには、日陰棚が設置された。しかし年間を通して快適で、安心安全な教育環境整備が必要と考える。

そこで、整備計画について聞く。

①新築小学校太陽光発電による電気利用目的及び次の設置計画。

②各教室へのエアコン導入計画。

③全校洋式トイレ（ウォッシュレット付）整備計画。

④全教室及び廊下の強化ガラス化及び、飛散防止フィルム施工計画。

A ①太陽光パネルの設置は、

地球温暖化対策推進と環境教育の教材の一部として活用を図るために試験的に設置したものである。今後の設置計画はない。

②過去の議会での論議の末、工事費や維持管理費を考慮して、全小中学校に扇風機を設置した。今後エアコンを導入する考えはない。

③全小中学校の各階に洋式トイレを1ヶ所以上設置していることから洋式化は一定程度進んでいる。しかし、便器

本体の機能面の強化や洋式トイレの整備については、教育環境の改善という観点から、今後研究を重ねる。

④非構造部材の耐震点検は平成25年度に全小中学校で実施する。その

点検結果を基に対策を講じる。



ウォッシュレット付にして欲しいなあ～